

## 新製品・新技術特集の発刊に際して

取締役 副社長執行役員 佃 嘉章  
技術統括本部長 Yoshiaki Tsukuda



新製品・新技術特集の発刊にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年3月の東日本大震災により我が国は甚大な被害を被り、当社はその早期復旧及び支援に現在も総力を挙げて取り組んでおります。

また、欧州の財政・金融危機で市場の低迷が長期化していることに加え、歴史的な円高や、中国・韓国企業の進出等により、新興国市場での競争が激化しており、このような経営環境下においても、当社は“製品事業の競争力強化と全社総合力の発揮”，“グローバルな事業展開の加速”，“お客様と社会からの信頼確立”に取り組み、更なる新製品・新技術の開発を推進してまいります。

当社は「ものづくり系複合企業」を実現し、エネルギー・環境や交通システムなどのインフラ事業により社会の持続的発展へ貢献することを目指しており、将来の市場環境の変化、お客様のニーズを予測しつつ、当社が保有する様々な技術を横断的に融合させて、新製品・新技術をお客様に提供し続けたいと考えております。本号では近年の成果の一端として23件の新製品・新技術を紹介します。

新製品・新技術としては、高温空気タービンを採用した太陽熱発電システム、産業用高性能大型リチウム二次電池、次世代球形タンク方式を採用した省エネLNG船、世界初の1600℃級J形ガスタービン、火力プラントのパウダースケール付着対策、船用主機ディーゼルエンジンの超省エネ排熱回収装置とハイブリッド過給機、加圧水型軽水炉(PWR)の安全設計技術、CO<sub>2</sub>回収の米国大規模実証試験、リアルタイム動体追尾照射機能を搭載した放射線治療装置、有機EL照明の開発と量産化、放射線遮蔽機能キャビン付きフォークリフト、高効率・高機能化した大容量ターボ冷凍機を紹介します。

さらに全社の技術開発を支える技術統括本部の取組みとして、船舶のプロペラまわりでのキャビテーション予測技術、過給器用遠心圧縮機の失速現象解析技術、複雑地形へも適用可能な非定常拡散シミュレーション技術、風車翼の低騒音設計技術、電気自動車の運用を踏まえた都市交通計画を評価するシミュレータ、安全・安心な製品開発に活用する数値シミュレーション技術、東京スカイツリー用の制振装置、火力プラント用脱硝装置の最新技術、ダイオキシン分解と脱硝機能を併せ持つバグフィルタ、CO<sub>2</sub>ヒートポンプ給湯器用二段圧縮スクロタリー圧縮機を紹介します。

これからも私どもの活動に対しご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。